

## 朝日親と子の自然環境教室・レポ

藤原 勲

朝日親と子の自然環境教室のイベントが子ども38人、保護者48人、シニアのスタッフ12人、ならやまのスタッフ22人計120人が集い10月15日10時30分から開催された。主催者のシニア自然大学校代表の澤井さん、奈良・人と自然の会の千載会長の挨拶に続き、イベント担当山本隆造さんの安全注意事項の説明があった。集合写真を撮った頃には昨夜来の雨も上がり素晴らしい秋晴れとなり子どもたちはこの後のイベントに目をキラキラ輝かせていました。里山体験は4班に分かれ、薪割り・椎茸栽培・皆伐地区・アカマツ地域等を見学し、小木伐採とアスレチックをしました。



薪割りでは太い丸太が機械を使って簡単に割れる体験をして、小木伐採では直径3cm位の木を鋸で切って、枝切り鋏で枝を切るという作業です。アスレチックでは子どもた



ちは木登り、ブランコ、綱渡り、ハンモックへ一直線。保護者の方にもミラーウオークをやってみませんかと勧め、木と雲と空だけの中を歩きフワフワと不思議な感覚になったと言っておられました。

13時からお待ちかねの昼食。賄い担当提供の豚汁、サヨムラサキ入りのおにぎり、焼き芋に舌つづみを打って談笑が広がっていました。

気になっていた田んぼも少し乾いてきたようで、マムシの追い出し作業後14時から稲刈り体験。鈴木さんから稲の刈り方等の説明があり稲刈りのスタート。子どもの小さな手では一束を纏めて持つことも難しく、一気に刈れず木を切るようにギコギコ。あちこちで親子助け合いながら刈っている微笑ましい光景が見られました。稲の結束は主に保護者の方がされて、結束された稲束を子どもたちが両手で抱え、隣の田んぼに立てられている稲架に皆で掛けていきました。



15時過ぎに活動は終わりベースキャンプで千載会長が里山の話をしている頃から大粒の雨が降り出し、テントの中や賄いのテントの中まで人で埋まり閉会の行事が進められました。30分位で雨も上がり、女性スタッフ手作りの鹿の折り紙、数珠玉のブレスレットのお土産を手にして、皆さん怪我や事故も無く16時頃帰路につかれました。スタッフの皆さま本当にお疲れさまでした。